



8/21

### 理想の自分を目指してみませんか 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック 競技大会推進本部事務局（東京都）

▶東京オリパラ推進本部事務局長の平田竹男氏（左）認定を受けた希楽々理事長の渡邊優子氏（右）



NPO法人希楽々の事業「きらら2020InBodyマイベストプログラム」が、東京オリパラ推進本部事務局が主催するbeyond2020マイベストプログラムに認証されました。これは、全国で26件目、総合型地域スポーツクラブとしては4件目の認証となります。

このプログラムは、最初にマイベスト目標として、体重・体脂肪量などの数値目標を設定。達成に向けて、ウォーキングや筋トレなどの運動プログラムを提供し、自宅でもできる運動習慣の定着に向けた指導などにより、活動の継続・目標達成を促します。

2020年のオリパラ開催をきっかけとして、運動に取り組み理想の自分を目指してみませんか。

8/17

### 職人の技に挑戦 神林農村環境改善センターほか

▶お寿司屋さんの手つきを何度もまねて挑戦するも：難しい！



神林商工会青年部主催の「遊んで学べる職業体験」が開催されました。この事業は、地域の若い職人さんたちが先生になって、職人の技を教えるものです。

神林地区5つの小学校から参加した子どもたちは、職人の技を見て聞いて、想像力とワクワクを膨らませながら、大工さん、和菓子屋さんなどのいろいろな仕事に挑戦しました。

普段の学校とは違う楽しさと、ユニークな先生たち。子どもも大人も一緒になって学び合い、楽しい1日となりました。

8/31

### 地域を愛する心を育てる 「金屋小学校の青空教室」 清流あらかわ

▶川舟を体験する金屋小学校児童



青空教室は、清流あらかわで自然を感じながらさまざまな体験をし「地域を愛する気持ち」と「ありがとうの気持ち」を育てる金屋小学校の大切な行事として、毎年行われているものです。

この日は、金屋小PTAや地域ボランティアの方々が大勢参加し、子どもたちを川舟にさせたり、魚を手づかみしたりして楽しみ、お昼には、鮎の塩焼きやみそ汁などをみんなで味わいました。

8/31

### 荒川の魅力を食べ尽くせ エキマエビアガーデン2019 JR坂町駅前通り

▶ビアガーデンでにぎわう様子



今回で3回目となるエキマエビアガーデンが、JR坂町駅前通りで開催されました。このイベントは、フリースタイルアラカワが企画し、荒川地区の飲食店の魅力を地域内外に発信しようと、あらかわみらいファンドを活用して開催しているものです。

荒川地区の夏の風物詩となったビアガーデンには、家族連れや知人グループなどが大勢訪れ、初企画となったカラオケ大会などで盛り上がり、8月最後の夜を楽しんでいました。



▲グラウンドに描かれた「トラクターに乗ったパンダ」

◀「明かりをともすと「たてこし」の文字が浮かび上がりました

9/7

### 第3回 竹あかり たてこしの夕べ 小川小学校グラウンド

動画あり

毎年、舘腰地域まちづくり協議会の主催で行っているこのイベントは、その年の田んぼアートのデザインを竹灯笼で表現しています。

設置した約2,000個の竹灯笼に灯がともされると、来場したおよそ180人は、校舎の3階から竹灯笼で描かれた「トラクターに乗ったパンダ」を鑑賞。

小学校のグラウンドいっぱいには並べられた竹灯笼から漏れ出す淡い光が、終始辺りを和ませていました。

9/10

### 卓球で全国2位の快挙 村上南小学校

7月26日(金)～28日(日)に兵庫県で開催された全農杯2019年全国卓球選手権大会のカブの部(4年生以下の部)で、村上南小学校4年生の川上流星くんが見事準優勝に輝きました。

この日は村上南小学校で臨時の全校朝会が行われ、大会結果の報告後、先生とのエキシビジョンマッチで全国2位の実力を披露。

川上くんにも今後の目標を聞くと「11月に開催される全日本選手権カップの部でベスト16に入りたいです」と話してくれました。



◀銀メダルと賞状を手に胸を張る川上くん



◀全校生徒の前で豪快なスマッシュを披露



◀迫力満点の投てき

9/12

### 祝 男子砲丸投げで全国2位に 荒川中学校3年生の渡辺さんが快挙 荒川中学校

8月23日(金)に大阪市で開催された全国中学校体育大会の男子砲丸投げに出場した、荒川中学校陸上部の渡辺豹牙さんが自己ベストとなる15m13cmを投げ、見事準優勝に輝きました。

この記録は、昨年の優勝記録を上回っており、決勝の最終6投目で自己ベストを更新するというドラマチックな展開でした。

渡辺さんは「次は、10月に行われるジュニアオリンピックで日本記録を出せるように頑張りたいです」と意気込みを語ってくれました。

9/12

### 中継集落の暮らしや魅力に触れた1か月 中継集落公民館

都市部の若者を1か月間農村に受け入れるインターンシッププログラムが中継集落で行われました。

この日、3人の大学生が集落での暮らしを自分たちの目線でまとめた冊子「仲継」を披露する報告会が開催され、昼の部・夜の部合わせて60人ほどの住民が参加しました。

「お世話になった中継の人の仲をつぐ、つなぎたいとの思いからこの冊子を作りました」と冊子のタイトルの由来を紹介するとともに、集落の一大行事である風神祭奉納相撲などを通して感じた集落の魅力や出会った人々への想いを語りました。



◀大学生と笑顔で談笑する集落の皆さん